

三重大学広報誌

三重大 X

えっくす

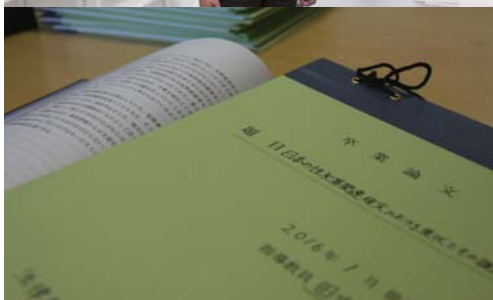
vol.37
2017 WINTER

M I E U N I V E R S I T Y X

FREE PAPER



ご自由にお持ち帰りください!



ホットニュース

来たれ!三重大大学へ!

特集:私はこうして三重大大学へ入学した

特集

おもしろ研究・先生XIV

気になるNEWS

スポット/クラブ・サークル

本の紹介

表彰

お知らせ

歴史街道シリーズ



三重大大学ホームページからアイコンをクリック!



「@MieUniversity」で検索!



「mieuniversityweb」と検索!

来たれ!三重大学へ!

特集

私はこちらして三重大学へ入学した ～現役三重大学生へ聞く、過去・現在・未来～



三重大学では7,000人を越える学生が学んでいます。彼らはどのようなきっかけで現在の分野を志し、三重大学への進学を目指したのでしょうか。

人文学部



身近な話題を研究したい!

法律経済学科 3年 八木 菜文

環境・情報科学館前のベンチはお昼ご飯スポットに最適ですよ!

きっかけ

高校生の頃、受験が迫るにつれ、自分が本当にやりたいことを見失ってしまいました。自分が興味のあることは何だろう。そう考えたとき、頭に浮かんだのは大好きなテレビのニュース番組でした。ニュース番組では連日事件や経済の動向が報道されていますが、私たちはテレビを通して報道される表層的な部分しか知りません。もっと根本的な部分である、法律や経済について学びたいと思うようになりました。普通の大学は入学する前にどちらを専門に学ぶかを決めなければならないのですが、三重大学人文学部は入学後、自分の興味に合わせて専門分野を決定できます。この選択肢の広さに魅力を感じ、入学を決意しました。

入学してみた

入学後は法律系の研究室(刑罰ゼミ)を選択しました。ゼミ活動では「何が正確なのか」を常に意識しています。公な統計データの数値ひとつをとっても、その数値が何を示しているのか、どのような統計処理を経た数値なのか等を判断し、うのみにしないよう目を光らせています。

研究テーマ

同年代の学生による性犯罪の報道をテレビでよく目にするうち、詳しく研究してみようと思い、卒業論文のテーマに選びました。研究を進めるうち、被害者の支援や加害者の更生に関するサポートが十分ではないと考えるようになりました。24時間対応が可能な、相談所・病院・警察等、機関同士の枠組みを越えた連携が必要なのではないかと考えています。

★三重大学を目指す皆さんへ!

高校生でしかできないことを沢山してください。進路に迷ったときは、実際に大学へ行ってみましょう!自宅と高校の往復だけではなく、その先を意識した高校生活を!

教育学部



三重県の子どもたちを元気に育てる!

学校教育教員養成課程保健体育コース 2年 倉田 明孝

陸上部です!グラウンドで走ったり跳んだりしています!

きっかけ

小中高と学校生活を過ごす中で、先生から学ぶことが沢山ありました。かつて私が感じた「学校ってすごい!」「運動って楽しい!」という思いを、子どもたちにも感じて欲しいと思うようになりました。子どもたちの成長のきっかけになる体育の先生になり、地元三重県に貢献したいと思い三重大学へ入学しました。

入学してみた

自分がこれまで当たり前のように受けてきた教育が正解ではないと知り、衝撃を受けました。「学校とはこうあるべき」「体育とはこうあるべき」という固定概念を崩すことで、新たな発見や進歩が生まれるのではないかと、思います。教育学部で学ぶにつれ、教育に対する自分の価値観が大きく変わっていきました。

研究テーマ

体育における教師の役割は「運動を楽しめる環境をつくること」だと思います。運動が嫌いな子どもに運動を強制しても、苦痛でしかありません。汗を流すために運動をするのではなく、運動を楽しんでいたら、自然と汗を流していた!という授業が理想だと思います。そして、今日の体育の授業は楽しかったな、と思ってほしいですね。跳び箱を飛んだ、シュートがきまった、マラソンを完走できた等、運動でしか味わえない喜びを体育の授業で味わい、成長してほしいと思います。具体的にどんな授業がいいか、まだわかりません。毎日、理想の体育を模索しています。

★三重大学を目指す皆さんへ!

大学は夢や希望に溢れています!それを良くするも悪くするも自分次第。何が正しいかは、すぐにはわからないと思います。けれど自分が動けば何かが変わることは確かです。自分で決めたことに向かって、精一杯努力しよう!

医学部

医学科



研究者を目指して医学部へ!

医学科 4年 松井 健汰

よく大学の図書館で勉強しています。蔵書も豊富!

きっかけ

小さな頃から理科が好きで、将来は科学者になりたいと思っていました。中学生の頃に科学者の伝記を読んでいたとき、どの伝記を読んでも「若い頃はお金が無くて苦労した」と書いてあるのを見て、医学者になれば生活に困らない賃金を得ながら学問に集中できるのではないかと考え、医学部を目指しました。

入学してみた

実家が三重県だから、という理由で三重大学に入学しましたが、入学後に三重大学ならではの魅力を感じることができました。三重大学の1番の魅力は、1つのキャンパスに医学部を含む全ての学部が集まっていることだと思います。医師は将来、病気はもちろん考え方や文化や宗教観等、様々な背景の患者さんと向き合います。学生時代から様々な人と交流することは、医師の素質を涵養する上で重要だと考えています。

将来は

医学者、特に病理学者を目指しています。入学当初、周囲は医師になるために医学部に進学した人ばかりで、自分のように研究者になるために医学部へ進学した人は少なく、「自分はこれでいいのか」と悩むこともありました。そんなとき、授業で病理学のことを学びました。病理学には、病気の原因を科学的な手法で突き止め治療法を確立する基礎研究の面と、医師と協力して患者さんの治療の方針を考える臨床の面の2つがあります。これなら研究もでき、同時に患者さんの役に立てると確信しました。

★三重大学を目指す皆さんへ!

幅広い教養を身につけてほしいと思います。受験科目以外の教科をいかにろにしているか、大学に入学した後、「学問をしている」という感覚が希薄になってしまいます。医療はアートとサイエンスのあわせ技だと考えています。ボランティアをしたり、友達と旅行に行ったり、美味しいものを食べた、美しいものを見たり、充実した高校生活を過ごしてください。

医学部

看護学科



お母さんに寄り添う助産師を目指して!

看護学科 3年

歌うことが好き!アカペラサークル「Pioneer」は食堂前で歌っています!

きっかけ

赤ちゃんが生まれる瞬間はお母さんも医師も、その場の全員が笑顔になります。出産特集のテレビ番組を見たとき、自分もそんな素晴らしい場所で働きたいと思いました。医師不足や中絶等、難しい問題もあることを追って知りましたが、自分が助産師になることでこれらの問題を少しでも減らしたいと思うようになり、三重大学への進学を決めました。

入学してみた

三重大学の最大の魅力は、全ての学部が1つのキャンパスに立地していることだと思います。学部共通の授業やサークル活動で得た、様々な価値観を持つ友人と接することで、自分の視野が広がったと思います。

現在は看護師の資格取得のための実習をしています。実習に協力していただく患者さんを診察し、カルテを見て、現在の健康状態を良いものにするための援助を先生と検討します。まだ知識不足で大変なこともあります。夢の実現に向けて充実した毎日を送っています。

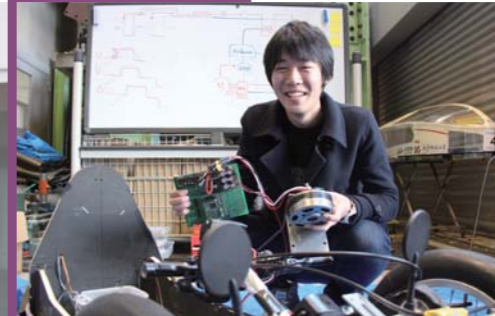
将来は

特にお母さんを支えることができる助産師になりたいと考えています。お産が上手くて、お母さんが「子どもを産んでよかったな」と思うことができれば、その後の育児にもよい影響を与えられると思います。技術面に加え、お母さんを精神面で支え、出産後もずっと幸せになれるような助産師を目指しています。

★三重大学を目指す皆さんへ!

三重大学では沢山の人と関わることで自分の幅が広がりますよ!楽しむときは楽しむ、集中するときは集中する。メリハリをつけて頑張ることが、受験勉強にも、大学生活を楽しむためにも役立つと思います!

工学部



“ものづくり”っておもしろい!

電気電子工学科 3年 伊坂 脩

より速く、よりエコな電気自動車を作っています!

きっかけ

高校の授業がきっかけでプログラミングが好きになりました。進路を考えるにあたり、情報系に進むか、モーター・ロボット系に進むか悩みました。そこで、両方を学ぶことができる三重大学工学部の電気電子工学科に進学しました。

入学してみた

工学部の講義は実験が多くて楽しい!専門書を読んで勉強したときには理解できなかったことを、実際に自分の手で実験して理解できたときが気持ちいいですね。

キャンパスの特徴としては、風力発電用の大きな風車が目を引きま。木がたくさん生えていて、落ち着いた雰囲気なのもいいですね。大学の図書館は専門書が豊富で、夜遅くまで開いているので自主勉強にオススメの場所です。

サークル活動

電気自動車研究会に所属しています。私たちは南台科技大学(台湾)と合同チームを組み、単三電池40本のみで動く電気自動車を製作し、年1回開催される「Ene-1 GP SUZUKA」(鈴鹿サーキット)へ出場しています。今年はより空気抵抗の少ないボディを設計し、モーターの効率を改良し、優勝を狙います!

このサークル活動を通し、ものづくりの面白さに目覚めました。自動車やロボットなどを自分で設計し、大きな機械を動かしてみたいという思いが強くなってきました。

★三重大学を目指す皆さんへ!

何事にも全力を尽くそう。全力を尽くせば、どんな結果になっても後悔しない。よい結果も悪い結果も受け入れて、前向きに頑張ろう!

生物資源学部



海洋生物の専門家になる!

生物圏生命工学科 2年 藤島 陽平

生物資源学部の1階には勢水丸のイカリがあります!

きっかけ

子どもの頃から海の生き物が大好きです。大学では海の生物多様性について研究したいと考え、地元富山県から三重大学生物資源学部に進学しました。生物資源学部は海の上で実験を行うことができる練習船「勢水丸」、志摩市の水産実験所をはじめとする、充実した研究設備が魅力です。

研究テーマ

「変な生き物」に興味があります。海には膨大な種類の生き物が生息していますが、中でも深海や海底火山の近く等の極限の環境には、常識では考えられないような風貌、変わった機能を持った生物が生息しています。そんな、謎の多い生き物の生態を明らかにしてみたいです。

生物を特徴ごとに分類し、進化・分化の系譜をまとめる学問を分類学といいます。一見地味に思えますが、生物多様性を理解するには無くてはならない存在で、とても興味があります。他には海中の生態系を根底から支える植物プランクトンについても詳しくなりたいと考えていて、研究したいことが山ほどあります!

サークル活動

ダイビングサークルに所属しています。海に近い、三重大学ならではのサークルだと思います。昨年の夏休みに紀北町と協力し、ガンガゼ(ウニの仲間)駆除のボランティアを実施しました。ガンガゼは周りの海藻を食べつくしてしまい、海底を砂漠のように変えてしまいます。海藻が無くなると光合成による酸素供給がストップするので、海中の生態系に大きな影響を与えてしまいます。生態系の問題を実際に目で見て体験でき、よい経験になりました。

★三重大学を目指す皆さんへ!

大学は、学問を通して自分自身の感性を磨き、様々な見方で考える力を養い、社会人としての姿勢を学べる本当に素敵な場所です。今、高校で学んでいることは大学生活で必ず生きてくるので精一杯頑張ってください。

特集
おもしろ
研究・先生
XIV

大学で学んだという自信をもって卒業してもらいたい
— 専門演習(ゼミ)という場を通じて —



三重大学人文学部・教授
田中 亜紀子 Tanaka, Akiko

人文学部の中庭にて 左:ゼミ生 右:田中教授

法律の誕生、変容 そして担い手につ いて研究する

私の専門は、法律の誕生、変容、担い手などの歴史を対象とする法制史です。その中でも特に、明治以降の未成年者処遇を中心とする刑事法制を研究しています。

明治以降、国が、次代の担い手としての子どもに関与する必要性を認識し、地域の協力を取り込みながら制度を作り上げる過程、そして制度を実施する上で生じた問題にどのように取り組んできたかを検討することを通じて、過去だけではなく現代の未成年者問題を考察しています。



京都弁護士会での戦前期弁護士資料調査風景
(2011年冬)

専門演習(ゼミ)こそ大学教育の醍醐味

講義やゼミでは刑法を担当しています。ゼミは、講義よりも少人数であり、関心のある分野を共有する学生が集まる、重要な学びの場だと考えています。私のゼミは、読書課題、レポートや学内外の懸賞論文、個人ないしはグループ報告、オープンキャンパス時の模擬裁判上演、というように、読む・書く・発表するといった課題が多いです。学びたいという意欲のある学生を中心に、例年、10名前後のゼミ生を迎え入れています。

「大学」を舞台としたRPG^{*1}のラスボス^{*2}でありたい

大学生活の集大成は卒業論文です。計画通りに作業を進める人、出所の怪しい情報をうのみにして叱られる人、文章が書けなくなってしばらく逃亡する人など、様々です。ある程度の長さの論理的な文章を書くことは決して容易なことではありません。しかし、この作業を通じてひと回り成長する学生が出てくるので、指導の手をぬくことはできません。RPGのラスボスのような存在として、卒論に取り組むゼミ生の前に立ちふさがりたいと思っています。

※1: ロールプレイングゲーム(role-playing game)
※2: ゲームに登場する最後のボス「ラストボス」の略

● 大学生生活の集大成



卒業論文集

● オープンキャンパス時の模擬裁判風景 (2016年8月)



大学卒業後のつながり もゼミならではの

ゼミの面白さは、大学卒業後も、「あの教員の指導に耐えた者」としての縦のつながりがあることです。私のゼミでは隔年毎にOB・OG総会を開催しています。公私ともに忙しい卒業生が集まって、教員に近況報告をしてくれたり、在学生に学生時代の思い出話をしたりしています。

大学生活そのものは短いですが、まずは、しっかり学ぶこと、そして大学で学んだという自信をもって大学を卒業し、それぞれの場所で活躍してもらいたいと願っています。



OB・OG総会

特集
おもしろ
研究・先生
XIV

「国」の文学から「世界」の文学へ
国際的な視点で見る日本文学



三重大学教育学部・講師
和田 崇 Wada, Takashi
[URL] <http://www.cc.mie-u.ac.jp/~wadataka/>

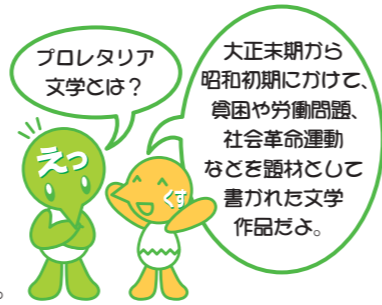
研究室にて

日本文学の国際性

日本の文学作品は、「国文学」や「日本文学」という呼ばれ方をしますが、これは必ずしも適当ではありません。たとえば、日本の新人作家の登竜門である芥川賞では、1996年にアメリカ出身のリービ英雄が候補となり、2008年には中国出身の楊逸が受賞、その後も2009年と2010年にイラン出身のシリム・ネザマフィが候補となっています。また、ノーベル文学賞を受賞した川端康成や大江健三郎、そして次の期待がかかる村上春樹など、日本人作家の小説は世界各国で翻訳されています。もはや、「日本」という枠組みだけで日本の文学を語ることは難しくなっているのです。

プロレタリア文学の翻訳と伝播

近年の日本文学研究では、こうした日本文学の国際性や越境性に注目が集まっており、私は現在、戦前期のドイツにおける日本のプロレタリア文学の翻訳状況を研究しています。たとえば、1929年に刊行された徳永直の『太陽のない街』は、翌年に早くもドイツ語に翻訳され、ドイツ語からの重訳というかたちで、ヨーロッパの各国へ翻訳されていきました。日本の文学作品は、戦時中に国策として他言語への翻訳出版が進められますが、プロレタリア文学は、それよりも早く民間レベルで各国への伝播が試みられたという点で注目されます。



●小林園夫『出発』翻訳の比較

ドイツ語訳

DAS VERBOTENE LIED
v.S. Kobajashi

五月一日の朝の工場
浅野 純一

虎に喰はれる
南 莊 造

日本オリジナル版

俺達の××樹立へ!
杉浦 半 一郎

出発
小林 園 夫

「戦旗」1929年6月号

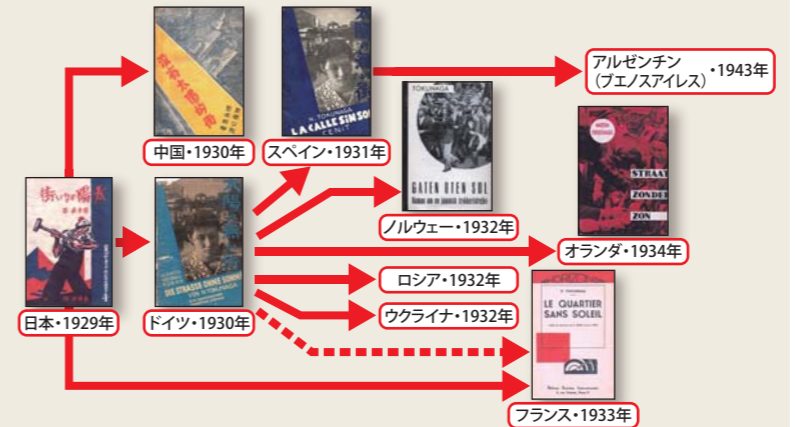
— 67 —

— 66 —

“Die Rote Fahne”, 1930.2.16.

「戦旗」1929年6月号

●徳永直『太陽のない街』伝播の過程



徳永直『太陽のない街』が各国へ伝播した過程をビジュアル化したもの。1929年に日本で出版された同書は、翌年の1930年に中国とドイツで翻訳されました。そして、その後、ドイツ語からの重訳で1931年にスペイン、1932年にウクライナ、ロシア、ノルウェー、1933年にドイツ語版を参照しながら日本語からの直訳でフランス版、1934年にこれもまたドイツ語からの重訳でオランダ版、そして、1931年のスペイン版が1943年にブエノスアイレスで再版されました。

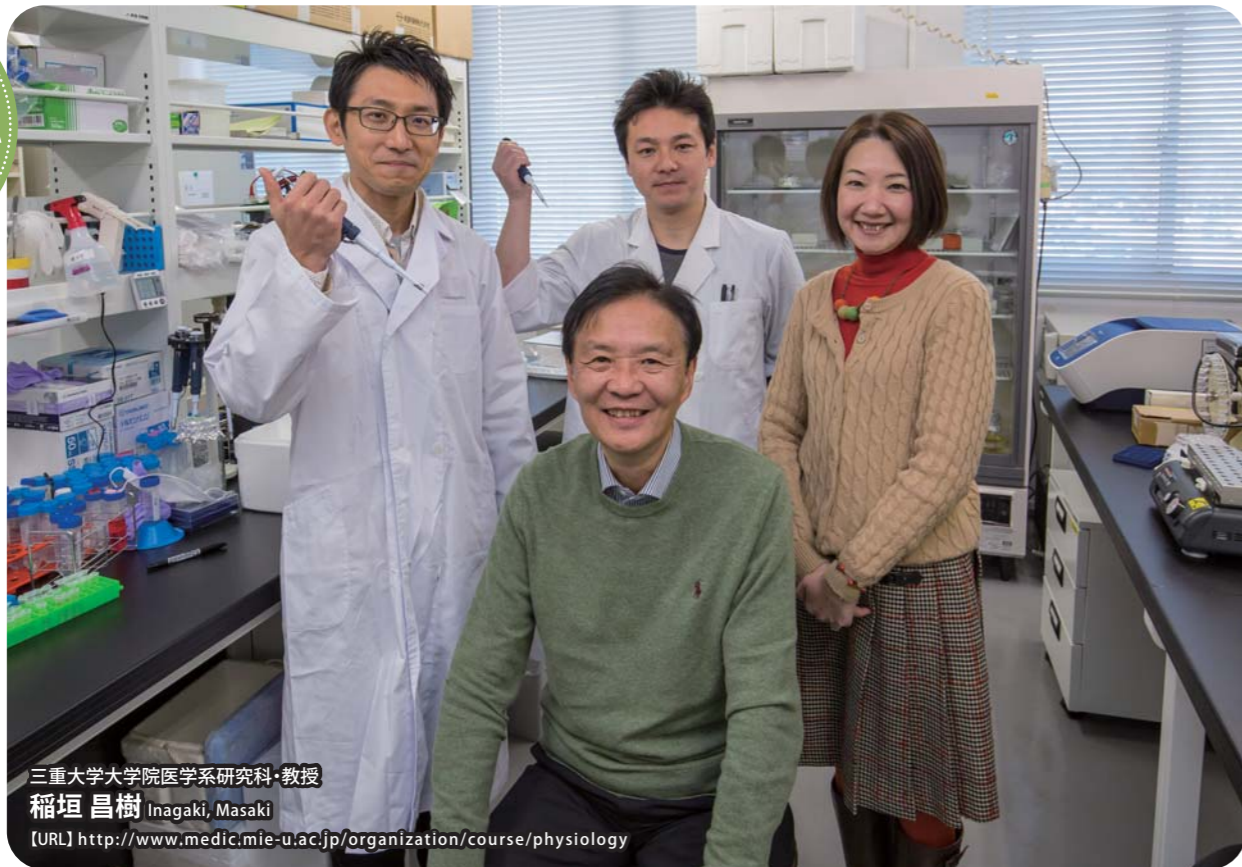
日本語の特質の再認識

日本文学の翻訳を研究していると、面白い発見が多くあります。たとえば、上の図は、1930年のドイツの新聞に掲載された小林園夫の「出発」という詩の翻訳ですが、原文と比べると、「出発」だけでなくその次の詩の一部も翻訳してしまっていることがわかります。しかも、「DAS VERBOTENE LIED」(禁じられた歌)というドイツ語のタイトルは、上の図青枠の箇所から採られたものです。これは日本の縦書き二段組みの読み方がわからないために起きた誤訳です。現在、日本のマンガが翻訳出版される際に、巻頭にコマ割りの読み方が掲載されることがあるのも、こうした誤読を防ぐためです。このように、日本文学の国際性を意識することで、反対に日本語で書かれた文章の特質について再認識することもできるのです。

特集
おもしろ
研究・先生
XIV

細胞のアンテナと病気

まだまだ謎がいっぱい！



三重大学大学院医学系研究科・教授
稲垣 昌樹 Inagaki, Masaki
[URL] <http://www.medic.mie-u.ac.jp/organization/course/physiology>

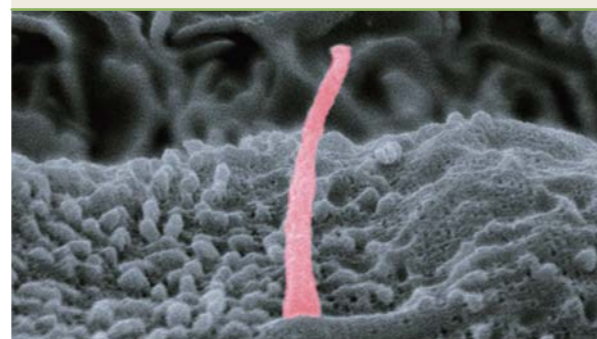
医学系研究科分子生理学実験室にて

細胞がもつアンテナ？

アメーバや酵母などは1つの細胞が1つの生命体として存在しますが、人では1つの受精卵(1つの細胞)から数多くの細胞分裂や分化を通じて生じた多彩な約60兆個の細胞の集合体がようやく1つの生命体となります。60兆というと、日本の1年の国家予算に近い数字ですね。

このうち大多数の細胞は発生の初期胚の段階から成人したのちにおいても図1に示すようなアンテナを各細胞1本限定で持っています。このアンテナを専門用語で一次シリアまたは一次線毛と呼んでいます。

● 図1. 細胞のアンテナ → 一次シリア



EMBO Conference Cilia 2016 より引用



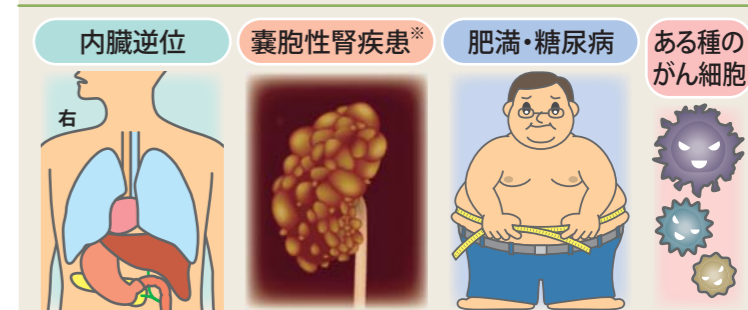
一次シリアの役割は？

1990年代に、一次シリアは細胞が集合してつくる心臓などの臓器の位置を決めていることが明らかとなりました。通常の人では左側にある心臓が右側に位置するようになる病気(図2)の原因が、この一次シリアの形成不全や機能の異常によるものだったのです。他にも一次シリアの形成不全や機能の異常はある種の腎臓の病気・肥満病・糖尿病・がんとの関連性が指摘されています。

一次シリアは、細胞が増殖している間は出現せず、細胞が増殖停止や休止期になった際に観察されることが古くから知られていました。温故知新という表現が適切かどうか分かりませんが、我々は一次シリアの形成と退縮が直接、細胞の増殖スイッチとして働いていることを明らかにしました(図3)。

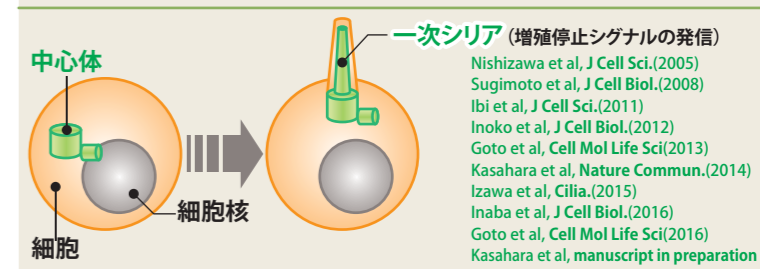
ちょっと専門的になりますが、増殖中の細胞でトリコプレイン(我々が発見して命名)という蛋白質を除去すると一次シリアの形成が観察され、その後、細胞の増殖が停止します。次にこのトリコプレイン除去細胞の一次シリアを人為的に破壊すると再びこの細胞は増殖を開始します。このことは、一次シリア形成そのものが細胞増殖のスイッチをOFFにしていることを示しています。(図4)現在、この一次シリアの増殖スイッチにかかわるトリコプレインをはじめとする多彩な蛋白質が形成するネットワークの全容の解明を進めています。

● 図2. 一次シリアの機能異常を原因とする様々な疾患



※Nigg EA, Raff JW: Centrioles, Centrosomes, and Cilia in Health and Disease. Cell. 139: 663-678 (2000) より引用

● 図3. 一次シリアの新たな役割: 増殖停止シグナルの発信



● 図4. 一次シリアが増殖スイッチである証明



新しい一次シリアの役割の解明とその後

さて一次シリアの形成・機能異常によって生じる一部の腎臓病・肥満病・糖尿病・がんなどは我々の見出した「一次シリアの増殖停止スイッチ機能」の破綻が主原因の可能性がります。

今後、一次シリアの形成を制御できる低分子化合物の発見は、より深い一次シリアの細胞機能の理解や図2で示した様な、シリア病の治療の糸口になるかもしれません。

他に我々のラボは我々が発見した蛋白質群(トリコプレイン、アルマトロスはじめ77種)、新しい実験手法(抗リン酸化ペプチド抗体)、新しい遺伝子改変マウス群(組織・臓器特異的にその構成細胞が高頻度に分裂異常をきたすマウス群)を使ってオリジナリティーの高い研究を遂行したいと考えています。

我々のラボでは、誠実で好奇心に富む学生さんや研究者のご参加をお待ちしています。



三重大学大学院医学系研究科看護学専攻・講師
児玉 豊彦 Kodama, Toyohiko

看護学科棟屋上にて

「つながり」はこんなにスゴイ!!

健康で長生きしたいという思いは多くの人が持つ願いですが、最近、健康と「つながり」の関係が注目されています。

「つながり」とはいわゆる人間関係の事です。この「つながり」が健康に大きな影響を与える事が明らかになってきました。ある研究※によれば、社会的に孤立している人は、そうでない人よりも死亡のリスクが高く、「つながり」は喫煙よりも寿命に大きな影響を与える事が分かりました。つまり、孤独は喫煙よりも身体に悪いのです!

なぜ「つながり」が健康や寿命に良いのか、その詳しいメカニズムはまだ分かっていませんが、いくつかの理由が考えられています。

※Holt-Lunstad J, et al. (2010): Social relationships and mortality risk: a meta-analytic review, PLoS Med, 7(7), e1000316



こころの病を抱えている人は孤立しがち…

私は精神看護・精神保健を専門に研究をしています。残念な事にこころの病を抱えている人(精神疾患患者さん)は周囲から孤立しがちです。こころの病を抱えている人が、地域社会でその人らしく生活するためには、就職の相談窓口や経済支援の制度など、地域にある社会サービスや制度を利用し、地域社会や地域の住民とのつながりを作る事がとても重要です。ですが、こころの病を抱えている人は、「そもそも、そういった施設やサービスの存在を知らない」、「利用の仕方が分からない」等といった理由で、未だに地域とのつながりを支援する施設やサービスを十分に利用しているとは言えない状況です。

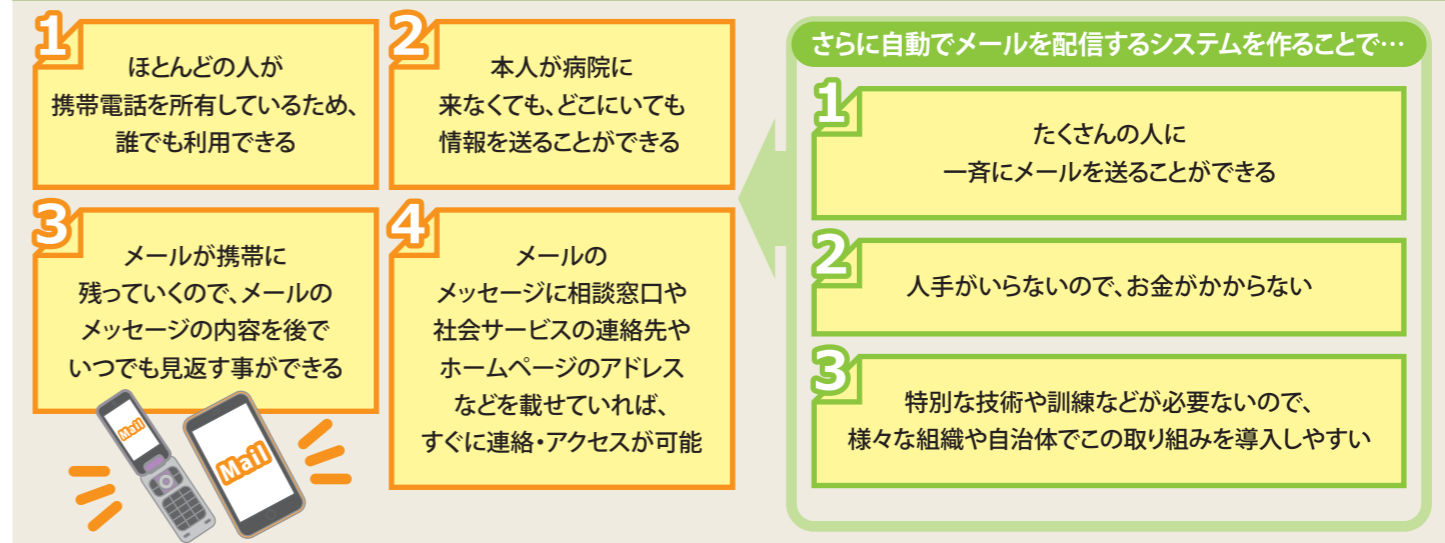
●こころの病を抱えている人が孤立しがちな理由



ICT(情報通信技術:Information and Communication Technology)を活用して「つながり」作りを!!

そこで私はICTの力を借りようと思いました。具体的には持っている携帯電話(スマートフォン)に、その地域にある社会サービスや制度に関する情報をメールで伝え、利用を促進させようというわけです。そうすることでこころの病を抱えている人に、少しでも地域とのつながりを作っていくと思っています。このようにメールの自動配信のシステムを利用して、地域社会とのつながりを支援する効果の検証を行っています。今はこころの病を抱えている人でも、ほとんどの人が携帯電話やスマートフォンを持っています。そして携帯メールを利用することはたくさんのメリットがあります。

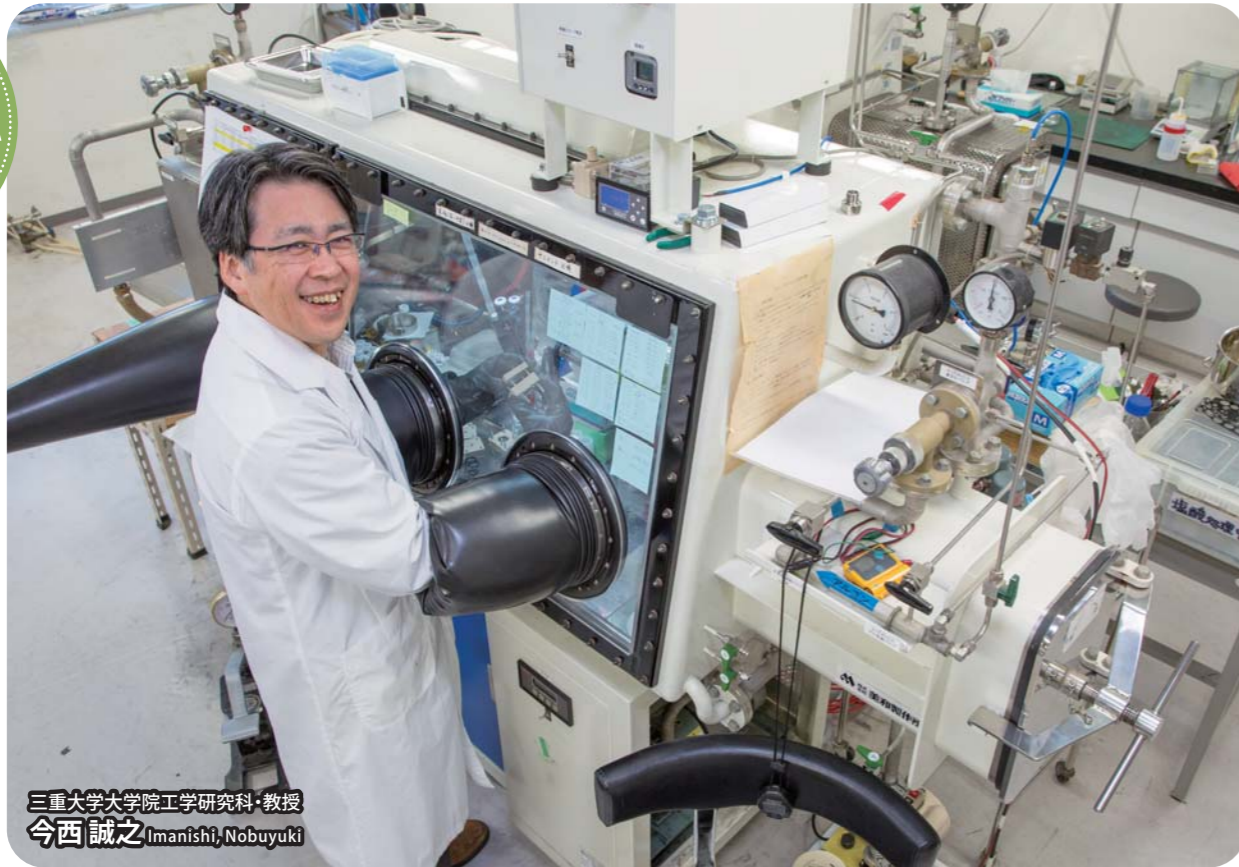
●携帯メールを利用する事のメリット



このような研究は世界でもあまり例を見ません。この取り組みが上手くいけば、多くの国や地域で、孤立を防ぎ、皆がつながりを持てるような社会の実現に役立てる事ができるのではないかと思います。

特集
おもしろ
研究・先生
XIV

It's a Material World!
— 化学の力で新しい電池を生み出す —



三重大学大学院工学研究科・教授
今西 誠之 (Imanishi, Nobuyuki)

工学研究科エネルギー変換化学研究室にて

社会を変革する新しい蓄電池

18世紀の産業革命以来、人類は化石燃料とそれから得られる巨大なエネルギーを使いこなすことで工業と経済の飛躍的成長を実現してきました。現代においてもその状況は変わりませんが、エネルギーの源泉たる石油や石炭が有限であることと、発生する二酸化炭素による地球温暖化に自省を促す傾向が生まれています。

具体的にこれらの問題に対処する方法の一つにエネルギーを無駄なく利用することが挙げられます。電気を貯めるという機能をもつ蓄電池はエネルギー運用の自由度を高めることでシステム全体の効率を改善します。また、電池を移動可能とすると空間的・時間的な制約を取り払うことができます。端的な例として携帯電話の普及があります。蓄電池の革新は社会構造の変革をもたらすものなのです。中でもリチウムイオン電池は1991年に世界に先駆けて日本で開発された蓄電池です。



次世代を担う電池の課題

現在のリチウムイオン電池は非常に優秀な蓄電池ですが、社会からの増大する要求に十分応え切れないところも出てきています。例えば電気自動車の航続距離※はガソリンエンジンに遠く及びません。こうした課題を解決するため、より大きなエネルギーを貯蔵できる革新的な次世代電池が強く求められています。私の研究室では精力的に新しい蓄電池の開発を行っています。

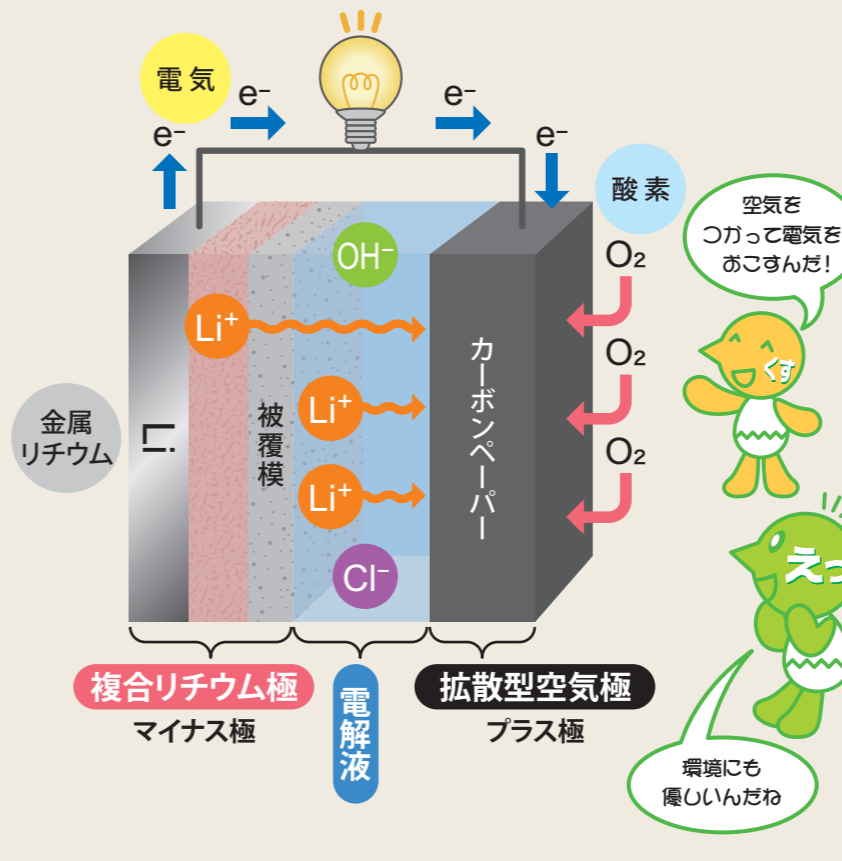
※蓄電池を満充電にして走行できる距離

●次世代蓄電池の今後



●水溶液を用いたリチウム-空気二次電池※

※空気極の酸素の反応速度が格段に速くなるので、電解質には水溶液を使用しています。



空気発電 「リチウム-空気二次電池」

電池とは大きくプラス極、マイナス極、電解質の3つの材料から成り立っており、リチウム-空気二次電池はマイナス極に金属リチウム、プラス極に空気中の酸素を用いる電池です。

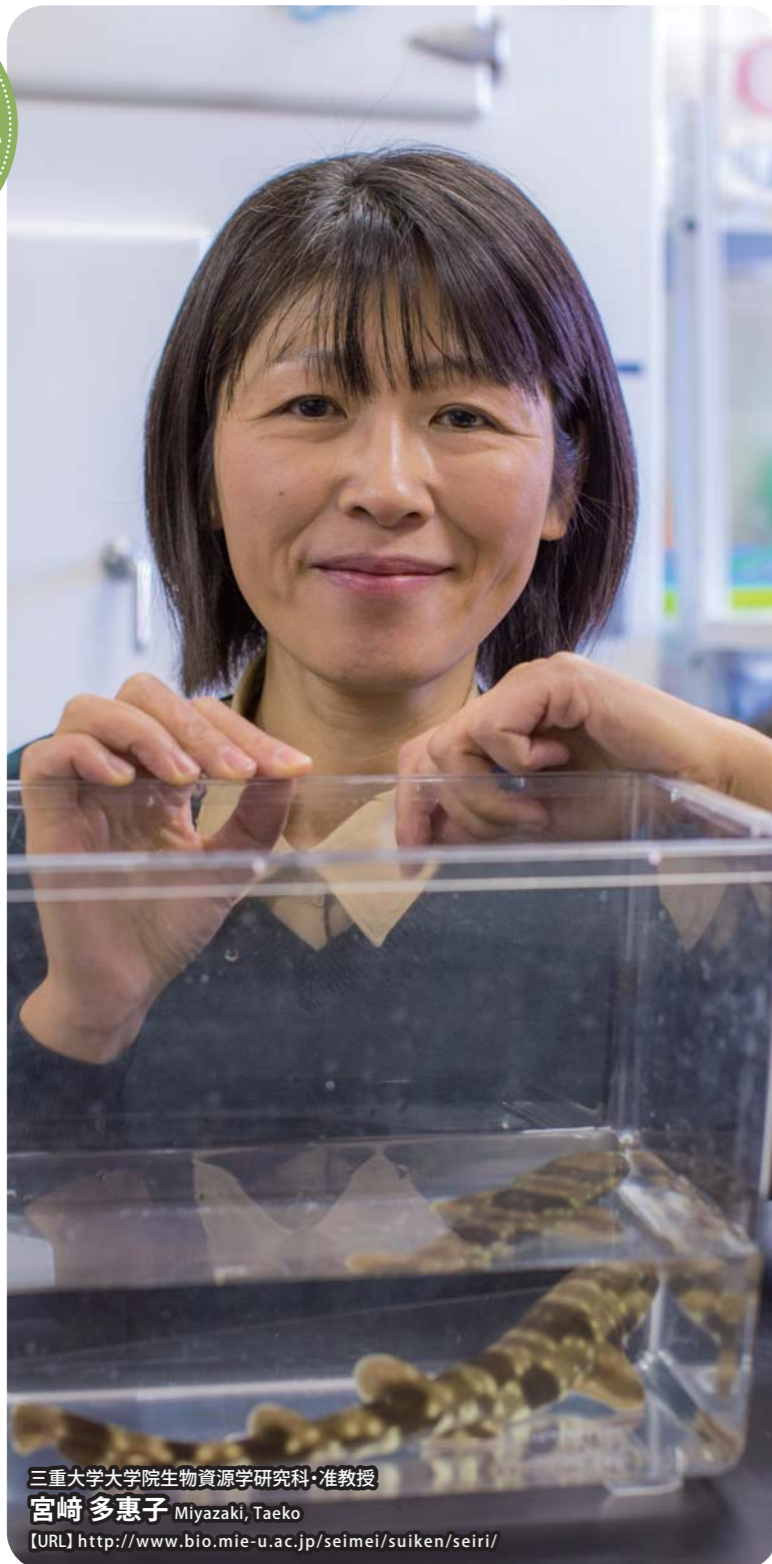
電池の開発は特に材料作りが重要で、物質をつくる化学の研究者が活躍する分野でもあります。

紙の計算の上ではリチウム-空気二次電池はリチウムイオン電池の5倍以上のエネルギーを持つこととなりますが、実現はそう簡単ではありません。なぜなら金属リチウムは活性が非常に高く、発火する恐れなど、問題点があるためです。そのため我々は金属リチウムの表面を安定化する被覆材料の開発を進めてきました。

我々の研究成果は空気電池以外にも利用可能で、これまでにない蓄電池を数多く生み出すものと期待されます。

特集
おもしろ
研究・先生
XIV

魚の知られざる行動や生態を目の機能からさぐる！
目を見ればわかる!?



三重大学大学院生物資源学研究所・准教授
宮崎 多恵子 Miyazaki, Taeko
[URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimei/suiken/seiri/>

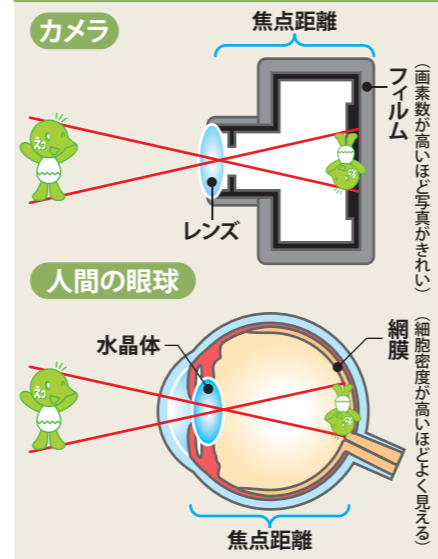
実験室にてトラザメと

目の構造はカメラと同じ!

私たちの目は「カメラ眼」と呼ばれます。カメラボディ(=眼球)の中に、光を一点に集めることができる性能の良いレンズ(=水晶体)と像を映すフィルム(=網膜)を持っているからです。脊椎動物^{*1}の多くは環境情報の8割以上を視覚によって得ていると言われていて、人にとっても魚にとっても、目はとても大切な感覚器です。魚は種類によって住んでいる水深や水域が違い、また捕って食べている餌も違います。生息環境や行動が違えば、視力がいちばん効く方向や色覚も違ってきます。私たちは魚が水の中でどんな生活をしているかと一緒に歩いて観察することはできませんが、目を調べることでおおよその生活様式を推定することができます。

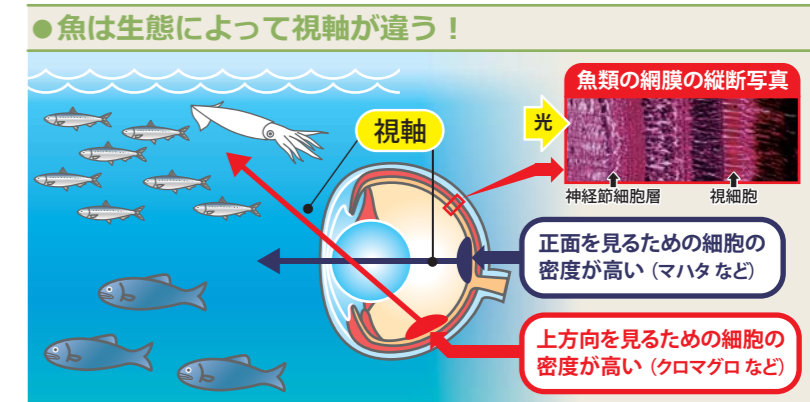
^{*1}: 魚類、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類からなる、背骨を持つ動物のこと。

●目の構造はカメラと同じ!



魚の目の秘密!

目の機能の中で一番に思いつのが「視力」です。魚の視力は水晶体の直径(=レンズの焦点距離)と網膜の細胞密度(=フィルムの画素数)から計算することができます。値は0.1~0.4程度で「近視」です。「そんなに悪いの?」とよく聞かれますが、水中では光の減衰が大きいので、とても澄んだところで、どんなに大きな物体でも見える距離はせいぜい40mです。したがって魚は高い視力を持つ必要がないのです。また、網膜の中には細胞が少ないところと多いところがあり、密度が一番高いところと水晶体の中心を結ぶ方向が視力が一番きく方向で「視軸」と言います。水深100~400mの層を高速で泳ぎながらイワシやイカの群れを探しているクロマグロの視軸は前方の斜め上方向です。一方、岩礁に潜んで目の前を通り過ぎる餌生物を待ち伏せるマハタの視軸はほぼ前方を向いています。

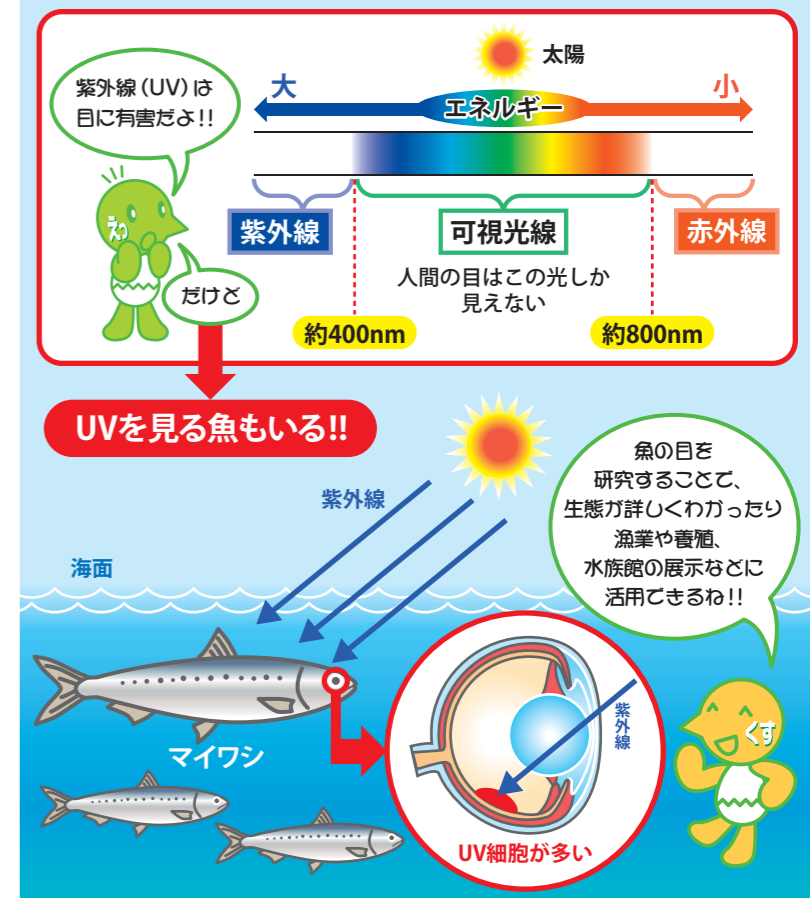


紫外線(UV)を見る魚!?

人の網膜には赤、青、緑を最も吸収するタンパク質(視物質)を含む「錐体^{すいたい}」という細胞があり、これら3種類の細胞で400~800nm^{*2}の範囲の色を見分けています。脊椎動物の祖先はさらに360~400nmの紫外線を吸収する「UV細胞」も持っていたのですが、進化の過程で失い、紫外線はむしろ人の目に有害な光になってしまいました。しかし魚の中にはいまでもUV細胞を持ち、餌の発見や仲間の見分けなどに利用している種類があります。UV細胞は紫外線が豊富な浅い場所に住んでいる魚でよく発見されます。例えばマイワシはお腹側の網膜にたくさんのUV細胞を持ち、海面方向からの紫外線をうまく受け取るようになっています。日本の周辺にはマイワシと近縁種で生活様式もそっくりなカタクチイワシとウルメイワシがありますが、いまのところUV細胞は見つかっていません。3種類のうちマイワシだけが春に産卵をし、他の2種は1年中産卵をします。もしかしたら、マイワシは紫外線量が増える春の到来をいち早く察知するためにUV細胞を持っているのかも知れません。

^{*2}: nm(ナノメートル)とは、光の波長を現す単位のこと。

●紫外線を見るマイワシ



気になるNEWS

ニュース



7月2日～10月10日

企画展 「The NINJA－忍者ってナンジャ!？」

世界中で人気のある「忍者」は、知名度の高さとはいかに、実在した忍者の姿は謎に満ちています。忍者研究を牽引する本学が特別協力し、展示の監修を行い、「心・技・体」3つの修行体験と忍術書や忍者道具などの史料を通し「真実の忍者」に迫った企画展を開催しました。

三重県総合博物館でも10月25日・2017年1月9日まで開催されたよ!



7月6日 第1回社長セミナー

県内企業の社長に会社の活動内容や学生への期待などを自由に語ってもらい、その後には学生との懇談が行われるセミナーです。口コミでは得られない情報を入手し、社長の人柄も知ることで、今後の学生の就職先選定や大学との連携の参考とすることを目的に開催しました。



7月9日

ノーベル物理学賞受賞 天野教授の特別講演会(三重大学・工学部同窓会特別講演会)

天野教授の学生の頃のエピソードや、ノーベル賞受賞の際の裏話、研究資金の課題などについて講演が行われ、約800人の学生および一般の参加者でにぎわいました。講演後は学生から自身の研究内容などについて積極的な質問がありました。



7月28日・29日

練習船「勢水丸」公開講座 「海の不思議と船の不思議」

「勢水丸」での公開講座を小学5・6年生を対象に10年ぶりに開催し、総勢119人の応募の中から24人が参加しました。船内見学やベントネット曳網による生物採集見学、CTDなどの海洋観測見学などを行い、最後に行われた修了式では参加者一人一人に修了証書が手渡されました。



8月8日～10日

三重大学オープンキャンパス2016

8日に医学部医学科、9日に人文学部、医学部看護学科、生物資源学部、10日に教育学部、工学部のオープンキャンパスが開催され、猛暑にも関わらず、3日間で延べ約6,000人の参加がありました。



9月11日

パープルリボンウオーク&セミナー2016 in 津「藤がんの克服を目指して」

藤がん啓発イベントとして、今回5回目となるウオーク&セミナーが行われました。ボランティアスタッフ124人の企画・運営にて開催し、ウオークイベントに310人、セミナーには242人の参加がありました。



9月30日

三重大学・三翠同窓会「三井昭二名誉教授 みどりの学術賞記念講演会」

第10回みどりの学術賞を受賞した三井昭二名誉教授による記念講演会「森林社会学への道」が行われた後、三井名誉教授、駒田美弘学長、速水林業代表の速水 亨氏による鼎談「三重のみどりー100年先の森」が開催され、三重県の森林や林業の可能性について語られました。



10月14日・15日

認知症サミット in Mie

「ものづくり先端技術が支える認知症のひとと地域の共生」をテーマに、14日は市民公開講座、15日は関係者のみを対象にワークショップやポスター発表などが開催されました。



10月23日～28日

第23回Tri-U(国際ジョイントセミナー&シンポジウム)

インドネシアボゴール農科大学において開催され、学内から選考された学生15人が参加し、英語でテーマごとの研究発表や活発な意見交換が行われました。エクスカーションでは「水牛の背中に乗ってみよう」、「田植えをしよう!」などの催しがあり、他国の学生とも交流を深めました。



10月31日

部局長のイクボス宣言および板東久美子前消費者庁長官の講演会

2016年3月にイクボス宣言を行った駒田学長に引き続き、板東前消費者庁長官の立ち合いのもと、本学の部局長がイクボス宣言を行いました。その後、板東氏による「ワーク・ライフ・バランスとこれからの大学像」と題した講演会が行われました。



11月5日・6日

第68回三重大学祭「一津～ひとつ～」

三重大学祭に関わるすべての人々が、心を通い合わせ、時間・場所を共有できるようにとの願いが込められた「一津～ひとつ～」をテーマに本学の学祭が開催されました。両日も天候に恵まれ、模擬店やメインステージでのイベント、サークルの発表、バンド演奏、子ども企画などが行われました。



11月8日・12月6日

平成28年度三重大学地震防災訓練

南海トラフ巨大地震発生を想定し、津波避難行動や災害対策本部設置、物資配分、初期消火訓練などを実施し、災害に備えてそれぞれの対応能力の向上を図りました。



11月12日・13日

第14回 青少年のための科学の祭典2016

子どもたちに科学の魅力を体験してもらうことを目的に、科学体験が楽しめる37のブース出展、また、同時開催の「第10回 サイエンス on ステージ」では7つのサイエンスショーが行なわれました。2日間で延べ約3,400人が来場しました。



11月14日～18日

教養教育機構公開講座「教養教育ウィーク-Freshmenの気分～」

誰でも気軽に大学の授業を体験できることをモットーに、異文化理解(ドイツ語)学、STAP問題、オセアニア地域研究、日本外交史、脳と言語、哺乳類の進化についての講座が5日間計6コマ開講され、延べ約100人が受講しました。



12月2日

三重大学 エコバッグデザインコンテスト表彰式

4月から本学学生を対象にエコバッグの新しいデザインの募集を開始し、76点の応募がありました。6月の第一次審査、7月の第二次審査を経て3点のデザイン案に絞られ、そこから8月の最終審査にて最優秀賞が選ばれました。



気になるEXTRA

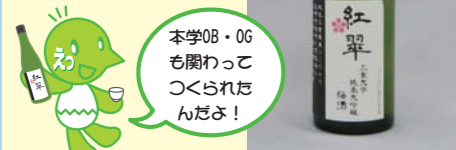
附属図書館で 11月電子ブックキャンペーンを実施!

2016年度から導入した電子ブックの普及促進を図るため、附属図書館玄関ホールでのポスター掲示や電子ブックのトライアルなど、キャンペーン活動を繰り広げました。



新しい梅酒が完成しました!

いなべ市の梅および菟野町の関取米を原料に用いて、本学学生がインターンシップにおいて企画・製造に関わった純米大吟醸梅酒「紅翠」が誕生しました。



本学08・06も関わってつくられたんだよ!

スポット

三重のピカ1

三重県でピカッと輝く企業を紹介します。

おぼろタオル株式会社



- 名称/おぼろタオル株式会社
- 所在地/〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目155番地
- 代表者/代表取締役社長 加藤勲次
- 事業内容/バスタオル、フェイスタオル、ウツシュタオル、マフラータオル、ベビー用品等の製造・販売

ピカ1 タオル一筋100年！技術と熱意が光る！！

毎日の生活により添う

私たちが毎日必ず利用するものの1つにタオルがあります。おぼろタオル株式会社は、日常生活に欠かせないタオルを、情熱を持って製造販売している会社です。おぼろタオルでは数多くの特許を取得し、技術を生かした製品作りに取り組んでいます。タオル業界において厳しい状況が続く中、人・技術・設備のそれぞれを整備し、より良い商品が消費者の元へと届くよう日々研究を行い、商品開発に取り組んでいます。

タオルを使う消費者に生きる喜びを

毎日使うタオルに生きる喜びを感じてもらいたい、そんな思いを持ちながら「おぼろの良さ」を生かした製品作りを行なっています。タオルを織る工程から、織上がった生地加工、最終の検品や検針に至るまで、タオル製造一貫作業工程にこだわっています。肌触りを良くするために、通常の半分の太さの糸を使用し、加工に時間をかけ、乾燥でも工夫を凝らし、徹底した手作業での検品検針を行うなど、全ての工程が消費者思いです。一貫生産体制のノウハウを生かした使い勝手の良い製品を、日々消費者へと届けています。



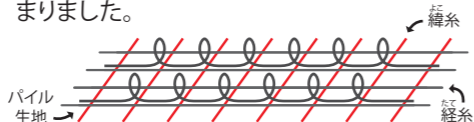
▲経糸と緯糸がものすごい勢いで製織されています

伝統文化を取り入れた製品作り

三重県の伝統文化の1つに伊勢型紙があります。おぼろタオルでは地元の伝統文化を生かした製品作りを行い、グッドデザイン賞(工芸部門)を受賞しています。また、伊勢型紙の文様を利用したおぼろ染めガーゼハンカチは、伊勢志摩サミットで「おもてなしタオル」としても利用されました。三重県の誇るべき伝統文化とタオル製造技術を用いて作られたおもてなしタオルは、乳幼児用途も対象となる国際的な認証を取得しており、文化だけでなく安心も兼ね備えた製品となっています。

「おぼろ染め」とは

おぼろタオルの創業者である森田庄三郎は日本画家でもありました。ほとんど柄がなく味気ないタオルに図柄をのせたいという思いから、狙った緯糸のみを染める「籠染タオル製造法」(特許)を取得し、おぼろタオルの歴史が始まりました。



▲加藤勲次 代表取締役社長



▲これまで取得した特許や受賞した賞が沢山ありました



▲伊勢型紙の模様を取り入れた美しいタオルは、伊勢志摩サミットの昼食会で使用されました!



芳田 レポーター

伝統を持ちながらも、常に成長し続ける「温故知新」を体現した会社です!

芳田 翔太郎(三重大学教育学研究科 教育科学専攻 学校教育領域3年)

SPOT

CLUB・CIRCLE

献血推進サークル「ヴァンパイア」

活動は 日時/毎月1回 日曜日 13:00~16:00
活動場所/三重県赤十字血液センター



読者の皆さんこんにちは。今回は私たち「ヴァンパイア」を集ってもらえるとのことで、この機会を通して私たちのサークル紹介だけでなく、献血についても知ってもらえれば良いと思います。

私たちは、献血推進活動を目的として活動しています。月に1度の定例会を開き、メンバーの献血に対する知識を増やし、呼び込み活動に生かしています。三重県は現在、若者の献血者の数が全国最下位で、その数を微力ながら少しでも増やしたいと思い、日々活動しています。今、医療現場では、献血された血液は主にがんの治療に用いられています。他にも、血液の病気や交通事故など用途は様々です。中でも特にがんが苦しむ患者さんはたくさんいらっしゃいます。その方たちの助けに少しでもなれるように、一度勇気を出して献血してみてください。皆様のご協力お待ちしております。

代表 山本 大貴 (医学部2年)
【サイトURL】<http://www.geocities.jp/vanpaianmie/> (三重県献血推進サークル)
【Twitter URL】<https://twitter.com/cspcbdm> (三重県学生献血推進連盟)
【Facebook URL】<https://ja-jp.facebook.com/mieblood/> (三重県学生献血推進連盟)

Bio Record

活動は 日時/水曜または木曜(変更有り) 18:00~20:00
活動場所/三重県内および三重大学内



「Bio Record」、略して「ビオレ」と呼ばれているこのサークルは、三重県内での生物採集、標本作製および保管を行うことを目的として、現メンバーが2016年度に立ち上げたばかりの新米サークルです。

生物が大好きなサークル員達はそれぞれ得意分野の生物について教えあったり、皆で本を囲んで調べたりすることで、知識や興味の幅を広げています。設立から日が浅く、必要器具や試薬、場所など不足しているものばかりで活動が限られてしまっていますが、今後ますます発展させていきます!最終的な目標は三重大学内に博物館を作ること!活動内容に合わせて活動場所も変わるため、興味のある方は気軽にご連絡ください。



代表 大西 はるか (生物資源学研究科 修士1年)
【メールアドレス】biorecord_mie@yahoo.co.jp
【Twitter】@BioRe_mie

本の紹介



『小さな会社の新個人情報保護法
やるべきこと、気をつけること
(最新改正対応版)』

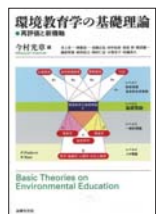
個人情報保護法を改正する法律が成立し、平成29年に全面施行されます。現在は、小規模事業者は「個人情報取扱業者」から除外されていますが、改正法の施行後は、個人情報データベースを事業に用いている事業者はすべて「個人情報取扱業者」となり、これまで個人情報について特段の対応をしておかなかった事業者も法律に従った対応を求められます。この本では、そうした企業が新個人情報保護法に対応するためのノウハウを短時間で伝授します。

単著 / 村阪 浩司 (工学部・特任准教授)
定価 / 1,600円 (税抜)
発行 / あさ出版
頁数 / 135ページ
ISBN / 978-4-8606-3905-1



『演歌の明治と大正テイヤ』

共著 / 和田 崇 (教育学部・講師)
定価 / 1,800円 (税抜)
発行 / 社会評論社
頁数 / 236ページ
ISBN / 978-4-7845-1917-0



『環境教育学の基礎理論
再評価と新機軸』

共著 / 荻原 彰 (教育学部・教授)
定価 / 3,400円 (税抜)
発行 / 法律文化社
頁数 / 232ページ
ISBN / 978-4-589-03783-1



『論集 日中近代比較文学研究の空間と可能性 (1900-2010)』

共著 / 藤田 昌志 (地域人材教育開発機構・准教授)
発行 / 愛知大学孔子学院 (編集責任者 陳朝輝)
頁数 / 241ページ
附属図書館にて閲覧・貸出可



『明治・大正の日本論・中国論
—比較文化学的研究—』

明治・大正の一級の知識人(福沢諭吉、中江兆民、内藤湖南、内村鑑三等11人)の日本論・中国論を一組にして、「総合的に」比較文化学的に考察、研究しました。欧化、回帰、国家主義等の時代の日本論・中国論の軌跡について人物中心に明らかにしました。

単著 / 藤田 昌志 (地域人材教育開発機構・准教授)
定価 / 3,500円 (税抜)
発行 / 勉誠出版
頁数 / 296ページ
ISBN / 978-4-585-23046-5



『海女をたずねて』

高齢化が進む志摩半島の海女、更に太平洋に浮ぶ新島、式根島へ渡り、鳥羽から出稼ぎに来て、島に住むかつての海女たちに会い、聞き書した著者渾身の1冊。海女たちの語り口から「海女のいま」を問う。巻末の13編のエッセイはエスプリの利いた文体で快い読感がある。

単著 / 川口 祐二 (社会連携研究センター・特任教授)
定価 / 1,800円 (税抜)
発行 / ドメス出版
頁数 / 210ページ
ISBN / 978-4-8107-0828-8



『Wonderful R 1 Rで楽しむ統計』

統計学の基礎から、あまり他書にない楽しめるトピックまで、オープンソースの統計ソフト「R」を使いながら学ぶ独習書。「R」は無料ですし、三重大学総合情報処理センターのPCにも入っています。ぜひ使ってみてください。

単著 / 奥村 晴彦 (教育学部・教授)
定価 / 2,500円 (税抜)
発行 / 共立出版
頁数 / 208ページ
ISBN / 978-4-320-11241-4



『雪と氷の疑問60
みんなが知りたいシリーズ2』

共著 / 渡辺 晋生 (生物資源学部・教授)
定価 / 1,600円 (税抜)
発行 / 成山堂書店
頁数 / 216ページ
ISBN / 978-4-425-51421-2



『入門 現代日本の経済政策』

共著 / 豊福 裕二 (人文学部・教授) 森原 康仁 (人文学部・准教授)
定価 / 2,800円 (税抜)
発行 / 法律文化社
頁数 / 282ページ
ISBN / 978-4-589-03753-4



『海洋底科学の基礎』

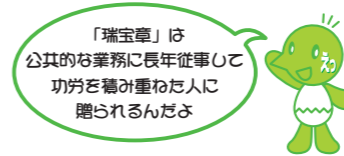
共著 / 坂本 竜彦 (生物資源学部・教授)
定価 / 6,300円 (税抜)
発行 / 共立出版
頁数 / 408ページ
ISBN / 978-4-320-04729-7



三重大学の教員が執筆している本の一部です

平成28年 秋の叙勲受章者

- 瑞宝中綬章 (教育研究功労) 名誉教授 (元三重大学工学部・教授) 三宅 康二



「瑞宝章」は 公的お業務に長年従事して 功労を積み重ねた人に 贈られるんだぞ

平成28年 第10回 「みどりの学術賞 (The MIDORI Academic Prize)」

- 2016年6月9日 国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与するもので、三井昭二名誉教授 (元生物資源学研究所教授) が受賞しました。



平成27年度 セルロース学会 林治助 賞

- 2016年7月14日 セルロース学会設立にあたっての功労者である故林治助北海道大学名誉教授のセルロース学会への寄付金をもってその元となし、セルロースの科学と技術の発展及び国際交流上の諸活動に顕著な貢献を為している国内外の気鋭の研究者を広く顕彰することを目的とするもので、生物資源学研究所の野中 寛准教授が受賞しました。



2016年度 「日本哺乳類学会奨励賞」

- 2016年9月24日 同賞は日本哺乳類学会により、哺乳類学の発展に寄与する優れた研究活動を展開し、今後の活躍が期待される若手研究者に授与されるもので、教養教育機構の浅原正和特任講師が受賞しました。



平成28年度 科学研究費助成事業審査委員の表彰

- 2016年9月30日 日本学術振興会では、学術研究の振興を目的とした科学研究費助成事業 (科研費) が行われています。本表彰は、審査終了後の検証結果に基づき、第2段審査 (合議審査) に有意義な審査意見を付した第1段審査 (書面審査) 委員を選考し表彰するものです。平成28年度は約5,700名の第1段審査 (書面審査) 委員の中から人文学部の小澤 毅教授と医学系研究科の石井健一郎助教を含む268名が表彰されました。



「自然に学ぶものづくり 研究助成プログラム」 2016年度助成テーマに選定

- 2016年10月14日 生物資源学研究所の野中 寛 准教授が提案したテーマ「燃えにくい木材に学ぶ難燃性とリサイクル性を両立した天然木質材料の開発」が、「積水化学 自然に学ぶものづくり研究助成プログラム」の2016年度助成テーマ (ものづくりテーマ) に選定されました。



平成28年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰 (対策技術先進導入部門)

- 2016年12月5日 環境省は、平成10年度から毎年12月に地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人や団体への大臣表彰を行っています。三重大学はこの度、温室効果ガスを低減する先端技術を導入した低炭素キャンパス (スマートキャンパス) の取り組みが評価され、対策技術先進導入部門の環境大臣賞を受賞しました。



写真左より、
草 一宏 施設部長
加納 哲 理事 (情報・環境担当) 副学長
駒田 美弘 三重大学長
福田 美穂子 国際環境教育研究センター支援室員
坂内 正明 地域イノベーション学研究所 特任教授

※()内は指導教員
学年は受賞当時

教職員表彰

米・電気化学会から Battery Division Research Award を受賞!

(2016.10.6)

工学研究科教授 今西 誠之

Battery Division Research Awardは、米国の電気化学会 The Electrochemical Societyによって電池および燃料電池研究の向上を目的とし、1958年に設立されました。今西教授の受賞は水系リチウム空気電池の開発に対するものですが、将来的な電気自動車への適用の可能性を示したことも評価され、日本の大学に所属する研究者としては2人目の受賞となりました。



受賞者	受賞名(受賞日)
教育学部 教授 岡野 昇	日本学校教育学会賞 (2016.8.6)
生物資源学研究科 准教授 板谷 明美	International Conference on Sustainable Forest Development in View of Climate Change 2016 Best Poster Presentation (2016.8.11)
教育学部 教授 松本 金矢 教育学部 准教授 中西 康雅	日本産業技術教育学会 学会賞(論文賞) (2016.8.27)
生物資源学研究科 教授 木村 清志	2016年度日本魚類学会論文賞 (2016.9.24)
教育学部 教授 伊藤 信成	地学教育学会教育実践優秀賞 (2016.10.8)
地域イノベーション推進機構 技術専門員 黒澤 俊人 地域イノベーション推進機構 助教 加藤 信哉 地域イノベーション推進機構 教授 荻田 修一	日本放射線安全管理学会第15回学術大会 優秀ポスター賞 (2016.12.2)

「三重大学生物資源学部・ 渡邊文二奨学金」 奨学生採用決定通知書伝達式

(2016.6.22)

三重県四日市市にある三昌物産株式会社の創設者・故渡邊文二氏の篤志によって、設立されたものです。農水産業の発展と活性化および地域社会への貢献のため、地元三重大学生物資源学部の未来ある優秀、かつ経済的に厳しい状態にある学生を支援し、郷土に役立つ人材になってもらいたいと、返還を要しない奨学金制度を設立されました。今年度は学部3年生2名へ採用通知書が授与されました。



情報工科学科学生チームが 「国際大学対抗プログラミング コンテスト」地区予選に進出

(2016.6.24)

情報工学科の学生チーム KNN Manhattan Distanceが、ACM-ICPC(国際大学対抗プログラミングコンテスト)の国内予選で34位(参加384チーム)という好成績をおさめました。今回の予選突破は、2015年に続き2年連続の快挙です。



競技中の様子

第8回地域イノベーション学 に関する国際ワークショップ 優秀論文賞表彰式

(2016.11.11)

地域イノベーション研究開発拠点4階 第二講義室において、地域イノベーション学に関する国際ワークショップ(10月13日(木)、14日(金)開催)の優秀論文賞表彰式が開催されました。受賞者9名が表彰され、小林一成 大会長(本研究科長)から一人一人へ表彰状が手渡されました。

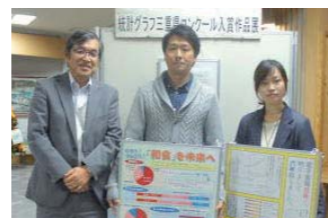


小原 久美子 地域イノベーション学研究科 M2
Sasicha Chensom 地域イノベーション学研究科 M2
福岡 貴一 工学研究科 M2
谷口 耕輔 地域イノベーション学研究科 D3
福永 雄大 地域イノベーション学研究科 M1
大河内 七海 生物資源学研究科 M2
吉澤 涼 工学研究科 M1
水木 千春 地域イノベーション推進機構
地域防災・減災研究センター 特任助教
浅沼 仁 地域イノベーション学研究科 M2

平成28年度 統計グラフ三重県コンクール 及び全国コンクール

(2016.11.15)

教育学部授業科目「情報科教育法」[メディアリテラシーと情報表現1](担当教員:下村 勉)では、学習成果の一部を毎年、統計グラフコンクール「パソコン統計グラフの部」に応募しています。今年度も優秀な成績を収めることができ、三重県コンクールの上位2つの賞(知事賞、教育長賞)を5年連続で受賞しています。また、全国コンクールでは、昨年に引き続き、「入選」を獲得しました。



写真左より、
担当教員 下村 勉 教授
【知事賞(三重県コンクール)】
松野 秀治 三重大学委託生(教員内地留学生)、
鈴鹿市立石薬師小学校
【教育長賞(三重県コンクール)】、
【入選(全国コンクール)】
奥川 裕美子 教育学部2年

学生表彰

第46回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 東海高分子優秀学生発表賞

(2015.12.7)

大学院工学研究科(博士前期課程)2年 近藤 史晃
(伊藤 敬人 教授)



未来国会2016 全国大会第三位 第一回三重県学生お笑いグランプリ 優勝 第二回三重県学生お笑いグランプリ 準優勝

教育学部4年 宮田 健志
(山守 一徳 教授)



日本農芸化学会中部支部 第177回例会 中部支部学術奨励賞

(2016.9.24)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)2年 大河内 七海
(奥村 克純 教授)



日本農芸化学会中部支部 第177回例会 中部支部学術奨励賞

(2016.9.24)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 服部 楓
(奥村 克純 教授)



日本農芸化学会中部支部 第177回例会 中部支部企業奨励賞

(2016.9.24)

大学院地域イノベーション学研究科(博士前期課程)2年
齋藤 愛
(矢野 竹男 教授)



第6回中部森林学会大会 学生発表奨励賞

(2016.10.22)

大学院生物資源学研究科(博士後期課程)2年
SRI EEN HARTATIK
(板谷 明美 准教授)



第6回中部森林学会大会 学生発表奨励賞

(2016.10.22)

生物資源学部4年 保科 朱里
(山田 孝 教授)



土壌物理学会 優秀ポスター賞

(2016.10.29)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)2年 中西 真紀
(渡辺 晋生 教授)



第23回Tri-U(国際ジョイントセミナー&シンポジウム)ポゴール農科大学

BEST ORAL PRESENTER BEST PROSPECT ON WORKSHOP PRESENTATION (2016.10.27)

大学院医学系研究科(博士前期課程)1年
HAYA MARINDA ASIAH NURIL
(竹村 洋典 教授)



BEST POSTER PRESENTER (2016.10.27)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 高橋 美樹
(野中 寛 准教授)



BEST POSTER PRESENTER (2016.10.27)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 高柳 小春
(野中 寛 准教授)



BEST POSTER PRESENTER (2016.10.27)

大学院工学研究科(博士前期課程)1年 赤塚 史洋
(野村 由司彦 教授)



BEST TEAMWORK ON WORKSHOP PRESENTATION (2016.10.27)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 張 雪諭
(長谷川 健二 特任教授)



BEST ORAL PRESENTER (2016.10.27)

大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 堀田 賢志
(塚田 森生 准教授)



クラブ・サークル表彰

自動車部



全日本エコドライブ チャンピオンシップ2016 (学生の部)

3位

同大会における自動車部の入賞は昨年の準優勝に続き、2大会連続となります。
(2016.8.22)

入試チームから

2017オープンキャンパス

- 8月8日(火)人文学部・生物資源学部
- 8月9日(水)医学部医学科・医学部看護学科
- 8月10日(木)教育学部・工学部

◎内容◎ 各学部学科等紹介、入試説明、体験授業、研究室見学など
◎問い合わせ先◎ 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577三重大学学務部入試チーム
/ ☎059-231-9063

オープンキャンパスに関する詳細は、本学ホームページ「入試情報」にて決まり次第お知らせします。
(PCサイト)http://www.mie-u.ac.jp/exam/ (携帯電話サイト)http://daigakuic.jp/mie-u/

お知らせ

平成28年度 学位記授与式

○日時◎ 平成29年3月24日(金)
○会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)



平成29年度 入学式

○日時◎ 平成29年4月7日(金)
○会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)

市民開放授業

平成29年度生物資源学部特別教育プログラム 受講生募集のお知らせ

農学関連特別プログラム・森林関連特別プログラム・水産関連特別プログラムを開講しています。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/PDF/H29%20specialprogram.pdf

○プログラム科目◎

- 農学関連特別プログラム
(前期コース) 作物学、植物保護学、園芸学、動物生産学、遺伝学、フィールドサイエンスセンター農場実習I
(後期コース) 植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習III
(1年コース) 作物学、植物保護学、園芸学、動物生産学、遺伝学、植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習I、フィールドサイエンスセンター農場実習III

- 森林関連特別プログラム
(前期コース) 植物学、森林情報学、土壌学、森林流域保全学、森林利用・情報学、森林植物生態学実習
(後期コース) 森林育成学、森林・緑環境評価学、森林利用システム学、治水砂防・森林水文学、森林・緑環境計画学、森林生物学実験
(1年コース) 植物学、森林情報学、土壌学、森林流域保全学、森林利用・情報学、森林育成学、森林・緑環境評価学、森林利用システム学、治水砂防・森林水文学、森林・緑環境計画学、森林植物生態学実習、森林生物学実験

- 水産関連特別プログラム
(前期コース) 海洋生物学、水産学総論、水族病理学、水族繁殖学、魚類学、海洋植物学実験
(後期コース) 分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
(1年コース) 海洋生物学、水産学総論、水族病理学、水族繁殖学、魚類学、海洋植物学実験、分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習

- 開催日◎ 2017年の講義期間
○募集定員◎ 各プログラム若干名
○受講料◎ 入学検定料: 9,800円 入学金: 28,200円
授業料: 1科目9,400円
前期・後期コース各56,400円
1年コース112,800円
○受講資格◎ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認めた者。
○受講申込受付期間◎ 前期コース:平成29年2月6日(月)~2月10日(金)
後期コース:平成29年7月31日(月)~8月4日(金)
○問合せ◎ 生物資源学研究科チーム学務担当 / ☎059-231-9735

公開講座・シンポジウムなど

●人文学部 伊賀連携フィールド2016年度後期 市民講座 忍者・忍術学講座「忍者を探る」

○会場◎ ハイピア伊賀3階 コミュニティ情報プラザホール
○受講料・定員◎ 無料・自由参加 ○受講対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ 人文学部チーム総務担当 ☎059-231-9194
E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

■芭蕉忍者説の傾向と対策
○講師◎ 吉丸雄哉(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成29年1月28日(土) 10:30~12:00

■芭蕉のネットワークと藤堂家
○講師◎ 岡本 聡(中部大学人文学部・教授)
○日時◎ 平成29年2月18日(土) 10:30~12:00

■忍者の近現代
○講師◎ 森 正人(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成29年3月18日(土) 10:30~12:00

●?「発見塾」(はてなはっけんじゅく)

○受講料・定員◎ 無料(申込不要)・自由参加 ○受講対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ 三重大学附属図書館 ☎059-231-9032
E-mail: lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken/

①YUBAメソッド:カラオケ達人への道 ~歌謡ショー&オープンレッスン~

○講師◎ 弓場 徹(教育学部・教授)
○日時◎ 平成29年1月28日(土) 13:30~15:00
○会場◎ 河芸公民館大ホール

②メディアと戦争~軍靴の音を聞く/見る~

○講師◎ 森 正人(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成29年3月25日(土) 13:30~15:00
○会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

●第15回三重大学発産学官連携セミナーin伊賀 一忍者と産学官連携一

○日時◎ 平成29年2月10日(金) 13:30~(受付13:00~)
○会場◎ ヒルホテル サンピア伊賀4階 白鳳の間
○参加費◎ 無料(交流会は3,000円) ○受講対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ 三重大学伊賀研究拠点
☎0595-41-1071 / FAX 0595-41-1062
URL http://www.iga.mie-u.ac.jp/15sankangaku.pdf
※詳細は上記URLをご確認下さい。

●第10回市民公開講座 特別記念講演 知ってほしい これからの肺がん治療

○日時◎ 平成29年3月4日(土) 13:00~16:00(開場12:00) ○会場◎ 三翠ホール
○受講料・定員◎ 無料・申込先着順950名(定員になり次第締切)
○受講対象者◎ 市民一般
○申込方法◎ ハガキ、FAX、E-mail。締切は平成29年2月17日(金)当日消印有効
FAX 059-231-5348 E-mail: gan-center@mo.medic.mie-u.ac.jp
○問合せ◎ 医学部附属病院がんセンター ☎059-231-5055(平日9:00-17:00)

●三重大学サイエンスカフェ 第17回「未利用食品資源と健康 ~体にいいもの捨ててませんか~」

○講師◎ 梅川 逸人(生物資源学研究科・教授)
○日時◎ 平成29年3月7日(火) 15:00~17:00(14:30開場)
○会場◎ 津駅前 伊勢門本店[EBIIRO] ソシアビル1F
○受講料・定員◎ 500円ドリンク付き・先着40名 ○受講対象者◎ 市民一般
○申込み・問合せ◎ 地域イノベーション推進機構(研究支援チーム)
☎059-231-9704 / FAX 059-231-9705
E-mail: ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.crc.mie-u.ac.jp/

催し物

●卒業展2017 三重大学教育学部美術教育コース 卒業・修了制作展

○日時◎ 平成29年2月15日(水)~2月19日(日) 9:30~17:00(最終日のみ15:30まで)
○会場◎ 三重県立美術館1階 県民ギャラリー
○入場料◎ 無料 ○対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ URL http://mie-sotsuten.jimdo.com/
URL https://www.facebook.com/mie.uni.sotsuten/

●第6回 MAE展 三重大学教育学部美術教育在学学生OBOGによる展覧会

○日時◎ 平成29年2月24日(金)~26日(日) 9:30~16:30(最終日のみ15:00終了)
○会場◎ 三重県総合文化センター ○入場料◎ 無料 ○対象者◎ 市民一般
○問合せ◎ 三重大学教育学部美術教育コース
2017年 MIE ART EDUCATION 展 実行委員会
E-mail: mae62_mie_art_education@yahoo.co.jp
URL http://maeten.tumblr.com

看護師・助産師 募集

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

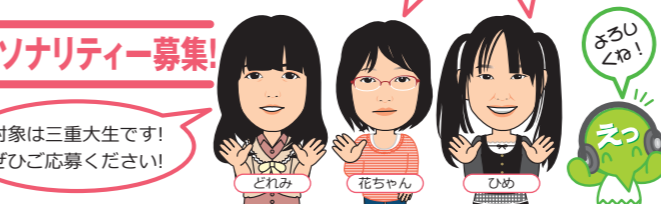
Illustration of medical staff with text: いっしょに働こう! 【お問い合わせは】 三重大学医学部附属病院看護部 ☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

F M 三重で放送中!!

●~学生の企画するFMラジオ番組~ 「Campus CUBE」 毎週金曜日20:30~20:55に放送中です!

パーソナリティー募集!

対象は三重大生です! ぜひご応募ください!



★応募先★ 三重大学企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

三重テレビ放送で放送中!!

きらめき☆三重大学!

三重大学の学生が、本学の魅力を紹介します。

今後の放送日 (予定)
時間はいずれも12:00~12:30
2017年 1月24日(火)
2月21日(火)
3月28日(火)
再放送は当日の17:00~17:30及び翌日の7:00~7:30です。(三重テレビ第2チャンネル)



三重大学のテレビ番組だよ!
三重テレビ放送 第1チャンネル(071)

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月1回)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。
配信お申込み方法
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
① 配信先メールアドレス ② 氏名
koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

三重大学公式SNS (Facebook, Twitter)を始めました!

Facebook: 三重大学ホームページからアイコンをクリック!
Twitter: 「@MieUniversity」で検索!
YouTube: YouTubeサイト内で「mieuniversityweb」と検索!

編集後記 vol.8

「一年の計は元旦にあり」の諺の如く、本年こそ意義ある歩みの一年にしたいと考える。それにしても理想と現実の乖離は年を追うごとに激しくなる。政治・経済・文化などのいずれも革新性から遠ざかりつつある。(GTO)

去年は海外旅行を控え、国内旅行に多くいきまし。今年のおみくじは半吉でしたが、旅は遠方に行くのと良いとあったので、久しぶりに海外へ旅立とうと思ひます。計画するのが楽しみです。(きょうらいん)

初めて冊子の編集に携わりました。普段何気なく読んでいた雑誌の裏方さんの仕事内容が分り新鮮でした!(ヤナ)

お子様の大学選びにはお母様方の助言が大きく左右されるそうです。ぜひ「えっくす」を読んでいただき大学選びの参考にしてください。来たれ!三重大学へ!(ともぞー)

巻頭インタビューでは三重大生の若いエネルギーを、「おもしろ先生」では教員の研究にける情熱を感じました。「えっくす」は単なる成果報告に留まるのではなく、三重大大学のパワーを伝えられる広報誌でありたいと思っています。写真は旅行先で見た富士山です。(sumi)

また年明け早々にフクロウカフェで癒されたのですが、餌の鼠を食べてる姿を見せられ衝撃的でした。今年は仕事も地固めと思っていますが、年明けから衝撃的で落ち着けるか心配になってきました。頑張ります。(nico)



今年も、西年。「申酉(さるとり)騒ぐ」という格言があります。広報室もえっくす冬号の編集が年末年始を挟み、騒がしい年明けとなりました。今年一年、ケッコウな年になりますように。(北の大地)

アンケートに答えて...

三重大大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成29年3月31日(金)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で5名に「三重大大学ブランド商品詰め合わせ(三重大大学カレー2箱、三重大大学魚醤「鮭びしお」1本、三重大大学学長給1袋、三重大大学オリジナルバッグ1個)」を、30名に「オリジナル文具セット(付箋1個、蛍光マーカー(3本入)1個)」をお送りします。どしどしお寄せください。
*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大大学ブランド商品詰め合わせ」、「えっくすくんわくわくシャープペン」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



教養は、エネルギーだ。 【4月入学生募集!】

- ◆テレビ・ラジオ・インターネットで学べます。
- ◆入学試験はありません。(大学院博士・修士全科生を除く。)
- ◆1科目(2単位)11,000円(教材費を含む)から、キャリアアップ(現職教員・看護師・准看護師の方)、資格取得、生涯学習など目的に応じて、在学期間・科目を選んで学べます。

出願期間 第1回募集:平成28年12月1日(木)~平成29年2月28日(火)
第2回募集:平成29年3月1日(水)~平成29年3月20日(月)
*第2回募集では、印刷教材の到着時期等が第1回募集と異なりますので、相違点等を学生募集要項ホームページでご確認ください。

インターネットで資料請求・出願できます!
放送大学 後援 www.ouj.ac.jp
資料請求専用フリーダイヤル ☎ 0120-864-600

放送大学 三重学習センター
〒514-0061 津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター内)
TEL 059-233-1170

artopia co., ltd.

- ロゴタイプ・シンボルマーク
- 会社案内各種パンフレット
- キャラクター
- ポスター、DM、チラシ等の企画・制作

有限会社 アートピア
三重県津市一身田平野182-60 〒514-0111
TEL059-232-3559 FAX059-232-0506 E-mail:artopia@ztv.ne.jp

毎週月曜日 19:00~19:55 ※土曜曜 12:00~再放送

毎月第4火曜日 12:00~12:30 再放送は エムツー(第2チャンネル)で当日17:00~/翌朝7:00~/ご覧ください。

堀口文宏(あさりど)と萩美香が「おかげ旅行社」ツアープランナーとなって、シーズンや行事など吟味したベストタイミングの「ええ旅プラン」をプロデュース! 2~3月には三重県、奈良県を紹介予定。

三重の力を世界へ! 教育・研究・医療・地域貢献など、さまざまな分野に全力で取り組む三重大大学の「今」を熱くお伝えします!

※放送日時是一部変更となる場合があります。



▶新大仏寺



▶上阿波

「初しぐれ猿も小蓑をほしげ也」伊賀越の山中で初しぐれに遭つての芭蕉の句です。長野峠を越え、安堵の気持ちで差し掛かる集落は上阿波。この句の頃までは宿場でしたが、のち宿場は平松に移り、農村に還つていきました。平松も今は静かな町で、家々の格子にかつての面影を残しています。

ここを過ぎると、右手に新大仏寺が見えてきます。平氏の焼き討ちで焼失した東大寺を、再建した重源上人の開いた寺です。ここは東大寺再建の用材を確保する拠点でした。本尊は丈六の阿弥陀三尊立像ですが、江戸初期には寺は荒廃し、芭蕉は「丈六に陽炎高し石の上」と詠んでいます。その後、寺は復興し、阿弥陀三尊も修理されて坐像となっています。

富永から下阿波を過ぎると、谷筋は狭がり、小盆地になります。二つ目の宿場、平田は三町からなる大きな町です。ここが賑わうのは夏、植木神社の祇園祭の時、山車、神輿、祇園花の行列が街道筋を巡行します。

平田の先は、左右に山が迫り、谷がにわかには狭くなります。このあたり、中ノ瀬から荒木にかけての街道沿いの岩壁には、鎌倉から室町期の磨崖仏が刻まれています。中でも阿弥陀三尊仏の中尊は像高二・七mを超える巨像です。

これを過ぎると、風景は再び拡がり、盆地となります。目の前に上野の城下町の台地が見えます。「さまざまのことおもひ出す桜かな 久々に帰省した芭蕉はこの句を詠みました。伊賀も間もなく桜の季節を迎えます。」

菅原洋一 三重大大学院工学研究科教授



▶芭蕉像(上野市駅前)



▶磨崖仏(伊賀市教育委員会提供、一部加工)

▼平田の祇園花の行列(伊賀市教育委員会提供)



三重大大学企画総務部総務チーム広報室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

●本誌お問い合わせ先 ●
●広告掲載のご依頼 ●

三重大X[えっくす] vol.37
平成29年1月発行
●発行/三重大大学広報委員会
●編集/三重大大学企画総務部総務チーム広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@ztv.ne.jp
◎禁断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

歴史街道シリーズ 伊賀街道 長野峠(伊賀上野)



入試情報

平成29年度 三重大学個別学力検査

本学の一般入試は、学部・学科・課程等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」により入学者を募集する「分離分割方式」で実施します。

人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

	実施日程	
	前期日程	後期日程
出願期間 (郵送に限ります)	平成29年 1月23日(月)～2月1日(水) (必着)	
個別学力検査等の日程	平成29年 2月25日(土) (医学部は2月26日(日)も実施)	平成29年 3月12日(日)
合格者発表	平成29年 3月7日(火) 午前10時頃	平成29年 3月22日(水) 午前10時頃

●「三重大学学生募集要項(一般入試)」は、本学学務部入試チーム又は本学HPより入手できます。

●「三重大学学生募集要項(一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、本学ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/exam/> 「入試情報」をご覧ください。

〈TEL.059-231-9063(学務部入試チーム)〉

携帯電話サイト

募集要項等の請求方法、志願状況速報などの各種情報を携帯電話にて閲覧することができます。

QRコード



※対応する携帯電話で読み取ることができます。

平成29年度大学入試センター試験 平成29年 1月14日(日)・1月15日(日)

お願 三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学振興基金は、皆様からの『ご寄附』を基金としてお預かりし、地域からの期待に込める大学に成長・発展を遂げるために必要な、学生(留学生を含む。)の教育活動に対する支援事業や教育研究の充実及び教育研究環境の整備等に必要なる支援事業に活用させていただきます。みなさまの温かいご支援・ご協力をお願いします。

○三重大学振興基金事業【幅広く活用させていただく一般事業基金】

三重大学における奨学援助(三重大学修学支援事業基金に規定する事業を除く。)、国際交流及び地域貢献等の一層の進展を図り、もって教育・学術研究の振興に資することを目的とする基金

○三重大学修学支援事業基金【用途を限定させていただく特定事業基金】

経済的な理由で修学が困難な学生に対して支援を行うことにより、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるようにすることを目的とした基金(文部科学省から「税額控除の対象となる証明」を受け、三重大学修学支援事業基金へのご寄附が税額控除対象となりました。)

○三重大学教職大学院奨学金【用途を限定させていただく特定事業基金】

三重大学教職大学院への現職教員の進学を積極的に推進し、三重県で活躍する高度な実践力を備えた教員の輩出に寄与することを目的とした基金

●募金の方法●

三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードいただき、必須事項をご記入の上、郵送下さい。(FAX・E-mailでも受け付けております。)

また、インターネットによるご寄附も、導入しておりますのでご利用下さい。



●ご郵送先・お問合わせ先●

三重大学振興基金事務局

【企画総務部総務チーム内】

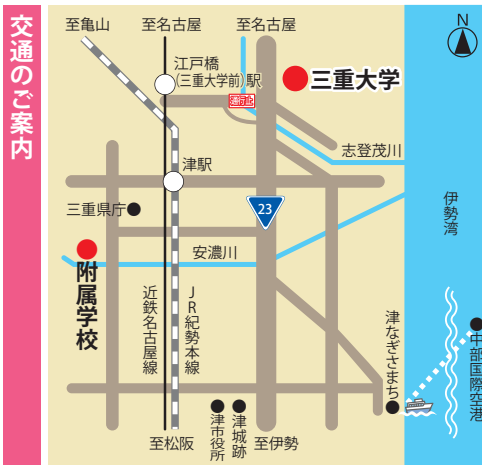
〒514-8507 津市栗真町屋町1577

E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp

URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/index.html>



三重大学振興基金 検索



- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前/バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで「三重大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ45分
 - 1.津なぎさまちから三交バスで「津駅前」まで約15分
 - 2.津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL059-232-1211(代)

<http://www.mie-u.ac.jp/>

